

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 砂防施設変状自動検出手法検討業務
業 務 概 要	本業務は、AI（データの認識・判断）と高度な画像解析技術を用いた砂防施設のひび割れ等の変状自動検出手法の検討及びシステム構築を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和3年 8月 6日
契 約 業 者 名	R 2 砂防施設変状自動検出手法検討業務 建設技術研究所・砂防フロンティア整備推進機構設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町3-21-1
契 約 金 額	¥39,996,000円（税込み）
予 定 価 格	¥39,996,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務に臨む体制などを含めた技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式により選定を行った。 R 2 砂防施設変状自動検出手法検討業務 建設技術研究所・砂防フロンティア整備推進機構設計共同体は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和3年 8月 7日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和4年 1月31日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。